

## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月3日

上場会社名 株式会社ジーテクト 上場取引所 東  
 コード番号 5970 URL <https://www.g-tekt.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 高尾 直宏  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 木村 誠 TEL 048-646-3400  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月9日 配当支払開始予定日—  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	235,709	41.2	10,218	54.9	11,471	56.7	8,405	55.5
2022年3月期第3四半期	166,893	8.1	6,598	24.1	7,322	40.9	5,405	58.4

（注）包括利益 2023年3月期第3四半期 9,443百万円（18.1%） 2022年3月期第3四半期 7,995百万円（34.7%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	195.51	—
2022年3月期第3四半期	125.85	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	273,299	170,584	58.2
2022年3月期	282,540	163,924	53.9

（参考）自己資本 2023年3月期第3四半期 159,081百万円 2022年3月期 152,292百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	28.00	—	28.00	56.00
2023年3月期	—	29.00	—		
2023年3月期（予想）				29.00	58.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	311,000	31.5	10,300	△5.8	11,000	△12.2	7,600	△14.4	176.76

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期3Q	43,931,260株	2022年3月期	43,931,260株
2023年3月期3Q	921,223株	2022年3月期	959,008株
2023年3月期3Q	42,992,488株	2022年3月期3Q	42,953,115株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・四半期決算補足説明資料については、当社IR情報サイト（URL <https://www.g-tekt.jp/ir/index.html>）を併せてご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済情勢については、物価上昇に対する各国中央銀行の急速な利上げや量的金融引締めにより、インフレ鈍化の兆しが見られ、金利のピーク感からドル高是正が進んでいます。米国景気はリセッション懸念が薄れ、地政学リスクはあるものの、ゼロコロナ後の中国経済再開への期待も見られます。

自動車産業においては、半導体供給制約や中国のゼロコロナ政策等によりサプライチェーンが混乱し、自動車生産は大幅な生産変動を余儀なくされています。同時に、中国・欧州においてはEV化が急速に進行しています。

このような事業環境の中、当社は国内外の生産ラインの自動化を推進し、生産性と信頼性の向上に取り組んでいます。さらに、EV関連事業ではモーターコアの実証ラインの設置を完了しました。EV車体は、欧州テスラに続き、中国メーカー向けの新規受注を獲得しています。

当第3四半期連結累計期間の業績は、材料単価改定や為替影響等がありましたが、減産影響等により売上高は235,709百万円（前年同期比41.2%増）となりました。利益面では急激な生産変動に対して、労務費や減価償却費等の固定費負担により営業利益は10,218百万円（前年同期比54.9%増）となりました。経常利益は為替差益や持分法利益などにより11,471百万円（前年同期比56.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8,405百万円（前年同期比55.5%増）となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## ① 日本

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	31,173	45,326	14,153	45.4%
営業利益又は損失(△)	△1,198	1,449	2,647	—

前期との主な増減要因

売上高 半導体影響により主要得意先では生産調整が続いたが、量産売上及び型設備売上の増加により前期比増収となった。

営業利益 急激な生産変動による固定費負担及び電力料金高騰によるコスト高はあるが、型設備の利益改善及び生産効率改善等により前期比増益となった。

## ② 北米

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	47,489	81,237	33,748	71.1%
営業損失(△)	△2,220	△646	1,574	—

前期との主な増減要因

売上高 材料単価改定及び為替影響による量産売上の増加と、主力機種立ち上がりに伴う型設備売上の増加により、前期比増収となった。

営業損失 生産性や品質の安定化に取り組み、体質改善の兆しは見てきたものの、第3四半期で得意先の生産計画を大きく下回り、固定費の回収が追いつかず営業損失となった。

## ③ 欧州

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	14,637	19,413	4,776	32.6%
営業利益	2,317	2,299	△18	△0.8%

前期との主な増減要因

売上高 欧州系完成車メーカーの受注生産台数が堅調に推移したことに加え、12月からのTESLA社向け車体部品の生産開始等もあり、量産売上が増加し、前期比増収となった。

営業利益 前期比わずかに減益となったが、前期の一時的な補償を除くと実質大幅増益となった。

## ④ アジア

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	22,197	30,556	8,359	37.7%
営業利益	1,624	1,207	△416	△25.7%

前期との主な増減要因

売上高 上海ロックダウン以降の生産回復、材料単価改定及び為替影響等により前期比増収となった。

営業利益 増収効果はあるが、型設備売上の大幅な減少により前期比減益となった。

## ⑤ 中国

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	50,581	60,209	9,628	19.0%
営業利益	4,622	4,136	△485	△10.5%

前期との主な増減要因

売上高 第3四半期にコロナ感染再拡大による大幅減産があったが、材料価格改定及び為替影響等により前期比増収となった。

営業利益 得意先の減産影響に加え、製造コストが増加し、前期比減益となった。

## ⑥ 南米

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	7,960	12,583	4,622	58.1%
営業利益	1,635	1,912	276	16.9%

前期との主な増減要因

売上高 トヨタ向け生産台数の増加に加え、材料価格改定及び為替影響により前期比増収となった。

営業利益 生産効率改善や要員見直しの推進に加え、為替影響等により前期比増益となった。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末より9,240百万円減少し、273,299百万円となりました。これは主に、仕掛品、受取手形及び売掛金の減少によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末より15,900百万円減少し、102,714百万円となりました。これは主に、短期借入金及び長期借入金の減少によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末より6,660百万円増加し、170,584百万円となりました。これは主に、利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の実績、現時点における主要客先からの受注動向及び為替動向を考慮した結果、2022年11月4日に公表した2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の通期連結業績予想を修正することいたしました。

## ①2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 324,000	百万円 14,100	百万円 16,200	百万円 11,500	円 銭 267.46
今回修正予想(B)	311,000	10,300	11,000	7,600	176.76
増減額(B-A)	△13,000	△3,800	△5,200	△3,900	—
増減率(%)	△4.0%	△27.0%	△32.1%	△33.9%	—
(ご参考)前期通期実績 (2022年3月期)	236,503	10,931	12,532	8,878	206.68

## ②修正の理由

2023年3月期通期の連結業績につきましては、北米における半導体影響及び中国における新型コロナウイルス再拡大等による得意先の更なる減産に加え、急激な生産変動による固定費負担及び円高進行等により、前回発表時の予想値を下回る見込みであります。このような状況を踏まえ、2022年11月4日に公表いたしました通期業績予想を上記の通り修正いたします。

上記の業績予想は、現時点での入手可能な情報に基づく将来予測が含まれており、当社としてその実現をお約束するものではありません。実際の業績は、今後の事業運営や為替変動等の内外の状況の変化により、予想数値と大幅に異なる可能性があります。開示すべき事由が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

なお、主要通貨の第4四半期の想定為替レートは、米ドル125.00円、人民元18.70円です。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	40,685	39,868
受取手形及び売掛金	51,230	47,588
製品	1,908	2,178
仕掛品	29,081	19,872
原材料	3,872	4,784
貯蔵品	1,297	1,449
その他	8,374	8,358
流動資産合計	136,450	124,100
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	57,773	59,132
機械装置及び運搬具(純額)	38,645	41,729
工具、器具及び備品(純額)	11,627	12,845
土地	13,342	13,645
建設仮勘定	12,677	9,514
有形固定資産合計	134,067	136,868
無形固定資産	1,416	1,232
投資その他の資産		
投資有価証券	8,518	8,786
その他	2,088	2,311
投資その他の資産合計	10,606	11,098
固定資産合計	146,090	149,199
資産合計	282,540	273,299
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	30,394	31,422
短期借入金	22,247	13,311
1年内返済予定の長期借入金	12,414	9,974
未払金	6,773	7,155
未払法人税等	1,610	1,131
賞与引当金	1,424	734
その他	6,301	6,202
流動負債合計	81,165	69,932
固定負債		
長期借入金	29,019	23,234
退職給付に係る負債	1,048	1,680
役員株式給付引当金	438	447
その他	6,943	7,420
固定負債合計	37,450	32,782
負債合計	118,615	102,714

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,656	4,656
資本剰余金	23,635	23,622
利益剰余金	103,677	109,610
自己株式	△1,707	△1,649
株主資本合計	130,261	136,239
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,285	964
繰延ヘッジ損益	1	42
為替換算調整勘定	20,363	21,979
退職給付に係る調整累計額	380	△143
その他の包括利益累計額合計	22,031	22,842
非支配株主持分	11,631	11,503
純資産合計	163,924	170,584
負債純資産合計	282,540	273,299



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	166,893	235,709
売上原価	150,660	214,189
売上総利益	16,232	21,519
販売費及び一般管理費	9,633	11,300
営業利益	6,598	10,218
営業外収益		
受取利息	231	509
受取配当金	125	154
為替差益	249	275
持分法による投資利益	195	553
その他	403	509
営業外収益合計	1,205	2,003
営業外費用		
支払利息	383	705
その他	98	45
営業外費用合計	482	750
経常利益	7,322	11,471
特別利益		
固定資産売却益	41	105
投資有価証券売却益	3	27
特別利益合計	44	133
特別損失		
固定資産売却損	8	1
新型コロナウイルス感染症関連損失	—	167
特別損失合計	8	168
税金等調整前四半期純利益	7,357	11,436
法人税等	2,378	3,217
四半期純利益	4,979	8,218
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△425	△187
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,405	8,405

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	4,979	8,218
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△68	△321
繰延ヘッジ損益	△48	41
為替換算調整勘定	3,040	1,660
退職給付に係る調整額	△57	△524
持分法適用会社に対する持分相当額	148	368
その他の包括利益合計	3,015	1,224
四半期包括利益	7,995	9,443
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,430	9,216
非支配株主に係る四半期包括利益	△434	226

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	26,306	47,150	14,450	22,183	48,842	7,959	166,893
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,866	338	186	13	1,738	0	7,145
計	31,173	47,489	14,637	22,197	50,581	7,960	174,038
セグメント利益又は損失(△)	△1,198	△2,220	2,317	1,624	4,622	1,635	6,781

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,781
セグメント間取引消去等	△182
四半期連結損益計算書の営業利益	6,598

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	32,718	80,952	19,216	30,530	59,708	12,583	235,709
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,608	285	196	25	501	—	13,618
計	45,326	81,237	19,413	30,556	60,209	12,583	249,327
セグメント利益又は損失(△)	1,449	△646	2,299	1,207	4,136	1,912	10,359

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	10,359
セグメント間取引消去等	△140
四半期連結損益計算書の営業利益	10,218